

登園許可書

登園の際には、本登園許可書の提出をお願いいたします。

(医師の診断により、登園可能と判断されることが基準となります。)

＜医師記入欄＞	
すこやか未来保育園 園長殿	
	クラス名 _____ 組
	園児氏名 _____ さん
病名「 _____ 」	
上記の疾患で療養中のところ、平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので、平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日から登園可能とします。	
	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
医療機関 医師名 _____	印 _____

保育園は乳幼児が、集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、ひとりひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。保育園入園児が、よくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけ医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、よろしくお願いいたします。

感染症名	主要症状	登園の目安
麻疹(はしか)	発熱、食欲不振、結膜やのどのカタル症状、口腔内にケシ粒大の白斑ができ、2～3日後に全身の発しん。	解熱後3日を経過してから。
風しん(三日はしか)	38℃前後の熱と共に全身に発しんがでる。耳の後ろのリンパ腺が腫れる。	発しんが消失してから。
水痘(みずぼうそう)	発熱、顔・手足・胸に赤い栗粒、頭髪の中も発しん、水泡となる。	全ての発しんが痂皮化してから。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱、耳たぶの下が腫れる。	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで。
結核	発熱、せき、痰	医師により感染の恐れがないと認めるまで。
咽頭結膜炎(プール熱)	夏風邪の一種。発熱と咽頭炎、結膜炎を起こす。結膜炎は、伝染するので要注意。(アデノウイルス)	主な症状が消え2日経過してから。
流行性角結膜炎	白目、まぶたの裏側の結膜が腫れる。目脂が多くでる。	感染力が非常に強いので、結膜炎の症状が消失してから。
百日咳	激しい咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで。
腸管出血性大腸菌感染症(0157・026・0111等)	腹痛、下痢、血便	症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの。
急性出血性結膜炎	急性結膜炎で、結膜出血が特徴	医師により感染の恐れがないと認めるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで。